

インフルエンザの流行及び集団かぜの発生（第 2 報）について

愛知県は令和元年 12 月 5 日（木）にインフルエンザ注意報を発令していますが、本市においても令和元年 12 月 2 日（月）から 12 月 8 日（日）までの 1 定点医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数は 20.67 人となり、流行が拡大しています。引き続き、インフルエンザの予防対策を十分に行ってください。

また、令和元年 12 月 9 日（月）、市内の小中学校から保健給食課（教育委員会）を通じて、インフルエンザ様症状による欠席者が急増したことから、まん延を防止するため学級閉鎖等の措置を取る旨の報告が保健所に行われました。また、市内のこども園からも、学級閉鎖の措置を取る旨の報告がありました。10 校以上の発生のため、情報提供します（こども園、小中学校の発生状況は以下のとおりです）。

1 本日判明した集団かぜ発生施設 （小中学校）

No.	施設名 （施設長名）	所在地	防疫措置をしたクラス等の状況				防疫措置	措置期間	全校の状況		
			学年 クラス名	在籍者数 （人）	患者数 （人）	うち欠席者 数（人）			クラス数等 （クラス）	在籍者数 （人）	他クラス等欠 席者数（人）
1	豊橋市立津田小学校 （勝岡也寸志）	横須賀町宮元 3 番 地の 1	5 年生	33	9	8	学年閉鎖	12 月 10 日（火）～ 12 月 12 日（木）	9	200	0～1
2	豊橋市立磯辺小学校 （保木井伸佳）	駒形町字丸山 61 番地	3 年 1 組	31	8	8	学級閉鎖	12 月 10 日（火）～ 12 月 12 日（木）	22	581	0～11
3	豊橋市立牛川小学校 （田中あゆみ）	牛川町字中郷 6 番 地の 1	5 年 3 組	30	13	8	学級閉鎖	12 月 10 日（火）～ 12 月 11 日（水）	21	577	0～4
4	豊橋市立鷹丘小学校 （小松 正人）	西小鷹野三丁目 7 番地の 1	6 年 2 組	33	13	11	学級閉鎖	12 月 10 日（火）～ 12 月 12 日（木）	28	786	0～3
5	豊橋市立多米小学校 （中村 佳嗣）	多米中町二丁目 27 番地の 1	4 年 2 組	40	14	14	学級閉鎖	12 月 10 日（火）～ 12 月 12 日（木）	28	759	0～7

6	豊橋市立飯村小学校 (松河由美子)	飯村南四丁目 6 番地 の 4	1 年 1 組	29	17	17	学級閉鎖	12 月 10 日(火)～ 12 月 12 日(木)	26	718	0～8
			2 年 3 組	34	12	12					
			5 年 1 組	35	12	12					
			5 年 4 組	34	12	12					
			6 年 1 組	32	9	9					
			6 年 2 組	32	7	7					
7	豊橋市立つつじが丘小学校 (中村三木也)	佐藤五丁目 16 番地 の 1	4 年 1 組	38	25	24	学級閉鎖	12 月 10 日(火)～ 12 月 12 日(木)	21	585	0～5
			4 年 2 組	38	19	18					
8	豊橋市立旭小学校 (田澤 順子)	旭町字旭 409 番地	6 年生	35	8	8	学年閉鎖	12 月 10 日(火)～ 12 月 12 日(木)	10	210	0
9	豊橋市立天伯小学校 (竹田 敏彦)	天伯町字高田山 136 番地の 1	4 年 2 組	24	9	6	学級閉鎖	12 月 10 日(火)～ 12 月 12 日(木)	12	266	0～2
10	豊橋市立富士見小学校 (大久保リサ)	富士見台二丁目 1 番地の 5	5 年 1 組	31	10	7	学級閉鎖	12 月 10 日(火)～ 12 月 11 日(水)	16	427	0～4
			ひまわり 1 組	1	1	1					
			ひまわり 2 組	4	2	2					
			ひまわり 3 組	1	1	1					
			ひまわり 4 組	1	0	0					
11	豊橋市立玉川小学校 (塩野谷文雄)	石巻本町字野添 10 番地	2 年生	38	16	14	学年閉鎖	12 月 10 日(火) ～ 12 月 12 日(木)	12	263	0～8
			5 年生	40	10	10					
			6 年 1 組	28	14	6	学級閉鎖				
12	豊橋市立東陵中学校 (森田 章裕)	牛川町字乗小路 32 番地の 35	1 年 1 組	32	3	3	学級閉鎖	12 月 10 日(火) ～ 12 月 12 日(木)	14	398	0～3
			1 年 2 組	30	13	10					
			1 年 3 組	32	5	4					
			1 年 4 組	31	12	12					

問合せ先

健康部健康政策課 主 幹 本塚真弓（電話 39-9112）

教育部保健給食課 専門員 藤田克宣（電話 51-2258）

（こども園）

No.	施設名 (施設長名)	所在地	防疫措置をしたクラス等の状況				防疫措置	措置期間	全校の状況		
			学年 クラス名	在籍者数 (人)	患者数 (人)	うち欠席者 数 (人)			クラス数等 (クラス)	在籍者数 (人)	他のクラス等 の欠席者数 (人)
13	岩田こども園 (恒川 元成)	中岩田一丁目 14 番地 23	年長しろぐ み	26	14	14	学級閉鎖 ※	12月10日(火) ～ 12月12日(木)	16	351	0～1
			年中きいろ ぐみ	25	9	9					

※2号（保育対応）の園児に対しても登園を極力控えるように通知する措置を取っている。

問合せ先

健康部健康政策課 主 幹 本塚真弓（電話 39-9112）

※ 集団かぜの発生に関する情報提供について

豊橋市では、市内の学校等でインフルエンザ様疾患による集団かぜが発生した際に、広く市民に注意喚起するために報道機関に対する情報提供を行います。

また、健康政策課のホームページでも情報提供しています。

<報道発表基準>

以下のいずれかの場合に集団かぜの報道発表を行う。

- ・インフルエンザ流行シーズン（毎年9月から翌年5月まで）における最初の集団かぜ発生時
- ・市内学校等における長期休暇明けの最初の集団かぜ発生時
- ・10校以上の学校における集団かぜ発生時

<インフルエンザの流行状況（健康政策課ホームページ）>

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6893.htm#heisa>

2 今シーズンの発生状況

(1) 令和元年9月～令和元年11月の発生状況

日付	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	患者数	欠席者数
R1. 9. 1～9. 30	0	0	1	13	12
R1. 10. 1～10. 31	0	0	0	0	0
R1. 11. 1～11. 30	0	0	9	151	102
計	0	0	10	164	114

(2) 令和元年12月の発生状況

日付	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	患者数	欠席者数
R1. 12. 2	0	1	4	144	106
R1. 12. 3	0	0	1	11	11
R1. 12. 4	0	0	1	19	11
R1. 12. 5	0	0	1	17	9
R1. 12. 6	0	1	3	98	78
R1. 12. 9	0	3	10	297	267
計	0	5	20	586	482

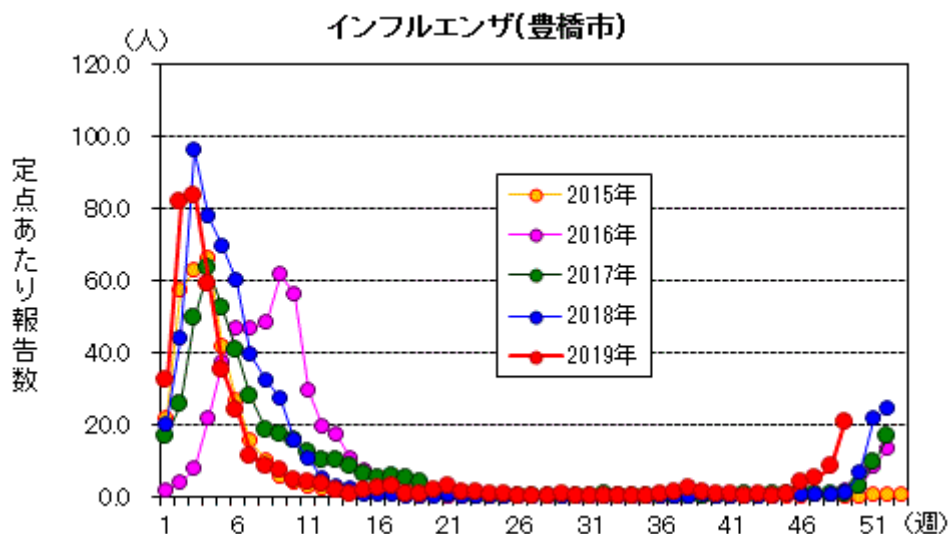
3 1 定点あたりのインフルエンザ患者報告数

インフルエンザについては「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、厚生労働省が感染症発生動向調査を実施しており、豊橋市では市内の12医療機関から、週毎のインフルエンザ患者数の報告を受けています。

国立感染症研究所の「警報・注意報発生システム」では、インフルエンザの場合、1週間の定点あたりの報告数が10を超えた場合に注意報が、30を超えた場合に警報が発令されます。なお、報告数が30を下回っても、継続基準値である10を下回るまで警報は解除されません。

	第46週 (11/11～11/17)	第47週 (11/18～11/24)	第48週 (11/25～12/1)	第49週 (12/2～12/8)
豊橋市 (12 定点)	3.92 (流行入り)	5.08	8.17	20.67 (注意報レベル)
愛知県 (195 定点)	1.92 (流行入り)	3.27	5.48	-

※愛知県は12月5日にインフルエンザ注意報を発令



1 インフルエンザの症状

1～3日の潜伏期間の後、急な発熱（38～39℃）に始まり、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛などの全身症状とせき、鼻水などの呼吸器症状、まれに嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状を示します。

2 インフルエンザを予防するために

次のことに注意して感染予防に心がけてください。

- (1) 十分な睡眠時間と水分、栄養バランスの良い食事をとり、体を温めて体調を整えましょう。（無理をして、学校や会社に出るとこじらせる原因になり、他の人に感染させてしまうこともあります。）
- (2) 手洗い及び消毒を励行しましょう。
- (3) 室内は適度な湿度（目安は50～60%）を保ちましょう。
- (4) 症状が出たら医療機関を受診しましょう。受診時にはマスクを着用してください。

※発症後すぐに検査をしてもインフルエンザ陽性とならない場合があります。ただし、検査が陰性であってもインフルエンザが否定された訳ではないので、感染を拡大させないようにご注意ください。

- (5) できるだけ人混みを避け、「咳エチケット」を心がけましょう。

「咳エチケット」とは

- ① 咳・くしゃみが出たら他の人にうつさないためにマスクを着用する。マスクがない時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔を背けて1m以上離れる。
- ② 使用後のティッシュなどはすぐにゴミ箱に捨てる。
- ③ 咳をしている人にマスクの着用をお願いする。

3 インフルエンザにかかってしまったら

一般的に、インフルエンザウイルスに感染すると、発症前1日と発症後3～7日間はウイルスを排出していると言われています。そのため、ウイルスの排出期間中は外出を控えましょう。排出期間の長さは個人差がありますので、咳・くしゃみなどの症状が続いている場合は、不織布製マスクをするなど、周囲の方へ配慮しましょう。